

新商品 枠組壁工法用制振壁「グラバスター」のご案内

株式会社住宅構造研究所(本社:埼玉県八潮市、代表取締役:金井建二)は新商品として、枠組壁工法用制振装置「グラバスター」を発売致します。

「グラバスター」は、「枠組壁工法(ツーバイフォー(2×4)工法)」でスタット間隔でも設置することが可能になった制振壁です。住宅の壁内に設置することで、中央の粘弾性ダンパーが、住宅に加わる地震の揺れを繰り返し吸収してダメージを防ぎ、長く安心して暮らせる住まいを経済的に実現します。

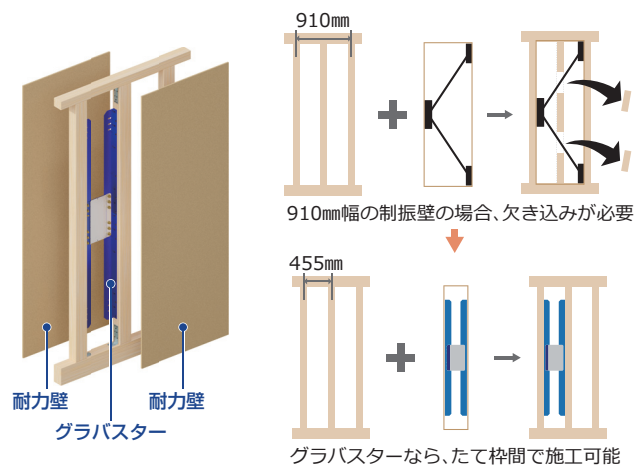


枠組壁工法用制振壁「グラバスター」の2つの特徴

1. 幅455mmたて枠間におさまる「幅狭モデル」

枠組壁工法では一般的なたて枠が幅455mmの間隔で割付されています。

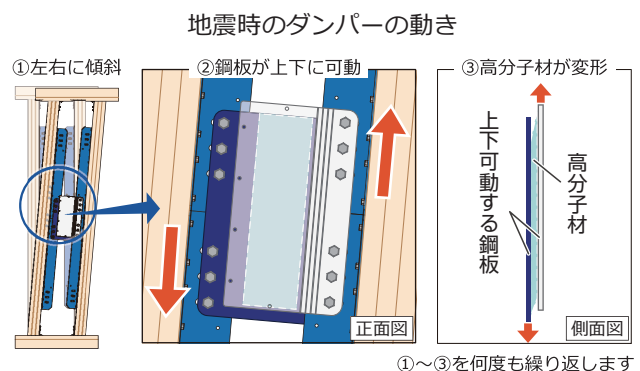
「グラバスター」はたて枠幅455mmにおさまるスリムな形状です。特別な工事は必要なく、たて枠を傷めずに簡単に取り付けられるので、「枠組壁工法」の住宅に設置しやすい「制振装置」です。



2. 制振特性に優れた粘弾性ダンパー

グラバスターに使われているダンパーの仕組みは、地震の揺れで「たて枠」が左右に傾斜すると、ダンパーの固定金物を通じて2枚の上下可動する鋼板に伝わり、その間に挟まれた「高分子材」を変形させます。

「高分子材」の変形が、地震の揺れを熱に変えて揺れを消失させる働きがあります。



①～③を何度も繰り返します

○ 東京工業大学との共同研究開発

グラバスターは制振分野の第一人者である東京工業大学筈井和彦特任教授、坂田弘安教授との共同研究を基に開発された製品です。

ご興味をお持ちのお客様は下記問い合わせ先までお気軽にお問い合わせください。

www.homelabo.co.jp

住宅構造研究所



住宅構造研究所

実証と検証にもとづいた住宅の安全性を追求する

【製品に関するお問い合わせ】 TEL.048-999-1555 9:00-17:30 (土・日・祝日を除く)

〒340-0815 埼玉県八潮市中央2-10-15 FAX.048-999-1533 担当:遠藤・関口